

I. 神は、この世界に神の働きかけ、個人、社会、被造物のレベルの変革をもたらしておられる。

マタイ 4:17

この時からイエスは宣教を開始し「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」と言われた。

(1)神は、宣教の神である。

(2)神は、個人、社会、被造物のレベルの変革をもたらしておられる。

II. 教会の使命と存在理由とは、神の宣教の働きに参加することであり、弟子として整え派遣するところである。ヨハネ 20:19~21

イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わされたように、わたしもあなたがたを遣わされます。ヨハネ 20:21

MB 信仰告白 宣教の民 3 宣教の働き

「宣教は、神によって等しく受け入れられているキリスト者が互いに尊敬し合い、互いの違いを尊重し合し、協力し合って行われる。教会はキリスト者をその弟子として相応しく整え、宣教の働きへと派遣する。」

(1)教会には、神の宣教の働きに参加するという特権からくる喜びがある。

(2)教会は、宣教の民であり、弟子として整えて派遣するところである。

III. 派遣されている私たちは、教会の視点からだけではなく、宣教対象を学び視点が必要とされている。

福音聖書神学校教育理念 (2) 宣教的であること

「教会の使命と存在理由はこの世界に対する神の働きに参加すること、そのような理解がこの宣教という表現になっています。福音聖書神学校をはじめ多くの神学校は教会形成やその他の働きを教会の側からの視点だけで考えてきました。現在ではこの視点に加えて、宣教の対象を学ぶ視点が意識されつつあります。それは教会の外の状況を学び、それを考慮していく学びです。宣教的であることは、教会の都合で成り立つ一方通行ではなく、神の救いを経験する人々との双方向性になります。これは、宣教学分野に留まらず、聖書学分野、組織神学分野、実践神学分野にも大きな影響を与える視点と言えるでしょう。」

★あなたは、神様が今の世界にも働きかけておられるという事実をどのように受け留めていますか？

★あなたは、新しいMB信仰告白の「宣教」の理解をどのように思いますか？

★あなたは、神様があなたを宣教のために遣わしてくださっていることからどのような喜びを感じますか？

★あなたは、宣教の対象を学んでいくと、教会の宣教方法はどのように変わっていく必要があると思いますか？